

浜田市都市計画マスタープラン（案）
パブリックコメントによる意見と浜田市の考え方

番号	ご意見の内容	浜田市の考え方
1-1	<p>■全般について</p> <p>地域住民の意向を汲み取られての事と思いますが、重点項目や優先順位が見え難い。財政面で限りがある中、全て実現可能なのか。</p> <p>企業誘致、移住促進からも公民連携を促進すべきであるが、積極的な姿勢や具体策が乏しく感じる。</p>	<p>（都市建設部、産業経済部、地域政策部）</p> <p>浜田市都市計画マスタープランは、都市計画法に基づいて定める「本市の都市計画に関する基本的な方針」で、目標年次は概ね 20 年先を展望しつつ 10 年先としています。また、将来的な構想を含んでいるため、記載内容の全てを実現できるとは言えませんが、諸課題の解決や本市の発展に向けた整備方針をとりまとめています。</p> <p>本市では、若者支援事業の創出・拡充に取り組んでおり、若者の定住に繋がる企業誘致や移住施策を推進しています。空き家バンクでは、宅建業者と連携して空き家の利活用を促進しており、毎年度多くの成約があります。今後も積極的に取り組んでまいります。</p> <p>公民連携については、第 6 章の「協働による都市づくりの推進」や「都市づくりの実現に向けた制度等の活用」で方針を示しているように、重要な取組と認識していますので、49 頁と 121 頁に「官民連携」の表現で追加することとします。</p>

番号	ご意見の内容	浜田市の考え方
1-2	<p>■P26 観光に関して</p> <p>海浜公園やお魚市場といった施設・ハードのPRでなく、中身の企画やイベントというソフト面のアプローチを強化すべきかと考える。頑張っている所が出てきていると思う。</p> <p>江津市の「風の国」の様に都市の大きな人流や資本を積極的に取り入れ、受け入れすることが望まれる。その結果、大規模な改修が行われ、雇用も増加した。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>交流人口拡大のためには、ハードのPRだけでなく、魅力的なイベント等を開催することや、積極的な情報発信に取り組むことが重要と考えています。各施設を運営する民間のアイデアを活かし、誘客の促進や雇用の創出に繋がるような施設運営に取り組んでまいります。</p>
1-3	<p>■P54 4 将来都市構造に関して</p> <p>もっと石見地方と捉えて、江津・益田との連携強化を前提とした都市計画とすべきである。首都圏からの流入を目指し石見空港を核とした東西交通を強化すべきである。一方、現実的な利便性を考えると広島空港からのアクセス向上も検討すべきである。</p> <p>インフラの老朽化が進む中、維持管理費など財政負担を考えると、新規道路整備が実現可能なのか説明が必要である。選択や優先順位付けが必要ではないかと思う。</p>	<p>(都市建設部、産業経済部)</p> <p>県西部での広域連携の取組としては、浜田道と江津道路の4車線化や山陰道の早期整備に係る国への要望を行っています。また観光面では、石見観光振興協議会や近隣市町では温泉周遊バス運行等でも連携しており、更なる誘客に向けた取組を進めることとしています。</p> <p>浜田道や江津道路は、55頁の「将来都市構造図」に、広域連携を支える軸として示しています。</p> <p>関東圏からの誘客には、萩・石見空港や広島空港とのアクセス向上が必要と考えます。このうち、萩・石見空港については、現在、関係市町で協議会を設置し、空港までのリムジンタクシーでの送迎等を行っており、今後も利用拡大に向けて努めてまいります。</p> <p>道路の整備については、インフラの老朽化対策として長寿命化を進める一方で、渋滞解消や物流効率化等のための新たな道路整備も必要と考えています。長期未整備となっている都市計画道路については、その変更や廃止を含めた見直しを検討してまいります。</p>

番号	ご意見の内容	浜田市の考え方
1-4	<p>■P70 4 公園・緑地の方針について</p> <p>現有大型運動公園は、周辺の宿泊施設等と連携するなど合宿等の総合的なメニューを構築し市外からの利用促進を図るべきである。地域や施設ごとに競技種目を特化するなど特徴的な整備・情報発信が必要と思われる。</p>	<p>(産業経済部、教育部)</p> <p>本市では、交流人口の拡大を目的に、市内で宿泊を伴う合宿を実施する団体に助成を行っています。今後も積極的に利用していただけるよう、各施設の特徴等を活かした情報発信に努めてまいります。</p> <p>また、スポーツ施設の整備については、「浜田市スポーツ施設再配置・整備計画」に基づき、更新や統廃合等を進め、機能を整理してまいります。</p>
1-5	<p>■金城地域・旭地域</p> <p>三隅地域や浜田地域で取り入れているコミュニティワゴンを金城・旭地域にも導入すべきである。運送車両の無償貸付や、運送支援補助金を交付するという制度をより幅広く、より多くの市民に周知していく必要がある。</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>地区まちづくり推進委員会等に必要な情報をこれまで以上に提供し、実施される場合は積極的に支援してまいります。</p> <p>一方、コミュニティワゴン事業は、担い手不足等の課題がありますので、市が今年度から実施している「あいのりタクシー」等の情報も併せて提供し、各地域に適した支援を行ってまいります。</p>